

酒々井町 郷土研究会々報

日本の神々の系図 (四)

会田 秀雄

前号では、あまり耳なれない
神々が続きましたが、いよいよ日
本の国を産んだ神の登場です。

(12) 伊邪那岐神・(12) 伊邪那美神

前号の(6)から(12)までを神世七代
と云う。イザナギ・イザナミの

神は、神世七代最後の神で、最

初の夫婦神ともいわれている。

神名のイザナは誇らを意味し、
ギ(男性)・ミ(女性)を加えて

性を区別している。この二柱の神は

実に多くの神々を産み、更に皇室

の祖先神である天照大神の親と
されながら皇祖神とはみなされず、

比較的冷遇されているのは注目
すべきである。

(13) 蛍子神(イザナギ・イザナ

ミの最初の子であるが、手足が
萎えた子であつたため青船に乗

せて流し捨てられたとある)

次に産まれたのは日本列島

の島々です。

(14) 淡道之穗之穂別島(淡路島)

を人格化した名称)

(14) 伊予之二名島(四国のこと)

山脈によつて二列に別れていて、一身

一つにして額四つ有り」とある)

(14) 隠岐之三子島(隠岐の島のこと)

こと。(天之忍許呂別ともいう)

(14) 築紫島(九州のこと。この島も「身一つにして額四つ有り」とある)

一つにして額四つ有り」とある)

(14) 天比登都柱(ともいう)

天比登都柱(ともいう)

(14) 津島(対島のこと。天之狹手依比売ともいふ)。(14) 佐渡島。

(14) 大倭豊秋津島(豊かに穀物

の餘る大和の島のこと。本州を意味する)

以上を大八島國(大八島)といふ。

さな島々六島が生まれますが代

表して

(15) 吉備児島(岡山県の児島半島

のこと。吉備は備前、備中、備後、美作の総称で、秦の意が含まれている)

国々を生み大事がなつたのを
称えて、(16) 大事忍男神が生まれ
ます。

次に家屋の神々が生まれます。
(17) 石土昆古神(壁を造る石や
土の神)。(17) 石巣比光神(石砂
の神)。(17) 大戸日御神(入口の
門の神)。(17) 天之吹男神(屋根
を葺く神)。

(17) 大屋昆古神(屋根の神)。

(17) 大戸日御神(入口の門の
神)。(17) 天之吹男神(屋根
を葺く神)。

身を焼かれ苦しめ、その苦しみ
の中から(26) 金山昆古神(嘔土
の神)。

ミ神を焼き殺した火之夜美速男神
など八神が生まれます。

イザナギ神はイザナミ神を訪ねて
黄泉国まで行きますが、イザナミ、

神の姫のたかつた姿を見て逃げか
えります。その後を追うイザナミ、

神との間の戦いでも多くの神々が生
まれます。地上に返つた伊邪那岐

神が投げ棄てた物から生まれた神々
が(24) 衝立船戸神(投げ棄てた被
かう生まれた神)など十二神。

神が(24) 衝立船戸神(投げ棄てた被
かう生まれた神)など十二神。

酒々井と佐倉七牧 一郷土史講座を聴いてー

高木正浩

八月二十日は、佐倉で最高気温三九、一度を記録した暑い日でした。

熱心な来聴者を前にして中央博物館の樋口先生は史料をもとにして兎明にとてもわかりやすく話を進めて下さった。

房総にひろがる台地は、古来、馬の放牧に適していた。江戸時代の房総の牧は、小金・佐倉・嶺間の三か所に分布し、徳川幕府のための軍馬を生産することが主な目的であった。八代将軍

吉宗は享保のころ二度鹿狩を行ない、小金・佐倉牧の積極的經營に乗りだしている。佐倉七牧は千葉・印旛・山武・香取の四郡にまたがり、野付村々は二一。か村に及び、放牧されていた馬は約三〇〇〇頭といわれている。これらの中は、牧士によつて馬や牧場が直接管理され、佐倉牧には約一三名いたといわれた。牧士は武士で、身分は低いが名字

帶刀・乗馬も許され、野犬や狼から守るために鉄砲を所持して

いた。しごとは牧の維持・管理、野馬の保護・増殖、野馬の食料や水の確保、年一回の野馬捕りの指揮などが重要なものだった。

野馬捕りは、野馬が小え過ぎない様にするための年中行事で、御用馬として江戸に送られる良馬

と、荷駆用や農耕用の馬としてセリ売りにかけられるものと分けられた。酒々井町史の史料集に見られる「野馬御用日記」は、佐倉四牧方牧士組頭を代々務めに酒々井町の島田長右衛門家から発見されたもので、当時

の牧の人びとの生活がよくわかる貴重なものである。

午後のひととき、郷土をより深く知りたい私たちにとって、まことに充実した心楽しい時間を作りだしました。

月末には全草が紅に

野草部よりおしゃらせ

春の観察会につづいて、山の紅葉一般と美しくなるこの季節に、下岩橋の田園に真赤に染まる「タコノアシ」を観ることにしました。その後、周辺を少し歩いてみるつもりです。行事案内をごらんの上、ご参加下さい。お待ちしています。



(タコノアシ)

野馬の保護・増殖、野馬の食料や水の確保、年一回の野馬捕りの指揮などが重要なものだった。

タコノアシとミクリの近況

亀井香久乃

皆さん、タコノアシという植

物をご存知でしょうか。

以前は日当たりの良い湿

地には時折見かけまし

たが、最近は滅多に見

られません。じつはそ

の植物が下岩橋地区に

群生しています。数年

前、散歩の途中見つけ

ました。その後、毎年増

え続け、昨年は目測で

約三十坪程の休耕

田は、タコ

ノアシ

「べんけ

イ草科」

でいっぽい

になり、十

月末には全草が紅に

染まり見事な草紅葉でした。草丈約一メートル弱で、上部の鉢上に花穂には八月の真夏に地味な花が咲き、結実の形は蝶の吸盤に似ています。秋には赤く色

づき、上向きに開いた実枝は茹で

蛸を逆さに見るようです。その姿から、タコノアシという和名を名

付けたものと思われます。春から数回、其処へ見廻りに行つてみる

と、今年は大形のガマ類が増え、その下で、タコノアシも負けじ

と育つていたのでほつとしました。

近傍の堀割には、珍しい「ミクリ」が自生し、その花を六月

末に見に行くと、赤茶けた污水の中で素枯れた葉茎にも拘わらず

三個の花を見ました。近隣から

流入する生活废水は、ミクリにとつて死活の感があります。特別な植物が、人家近くで存続する

るのは大変のようです。

【※鉢工：酒の器の上部】

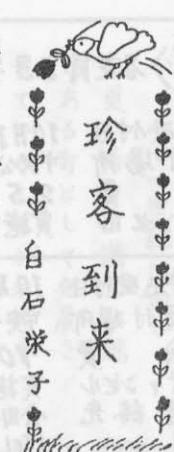


(タコノアシ)

原宿恵比寿ガーデン方面

タタ谷 うわ

紫陽花が、鮮かな色彩で我が世の春と咲き競う梅雨の景中、惠比寿方面名勝探訪が代替日の六月二十一日に実施となり参加させて戴きました。会報を見てからとても楽しみにしていました。当時は天候にも恵まれ、京成酒々井駅八時十五分集合と言う事なので、急いで駅へ行くともう大勢来ておられた。



珍客到来

先ず、東郷神社へお詣りして、いろいろな写真が飾られ、日本海海戦の時の様子なども聞き感動しました。境内には確かに一四、五歳くらいの若い少年達がお国のために命を捧げ、大空に散って行つた碑があり、胸がいたみました。次は明治神宮です。私は戦前と十五、六年程前に行った事があり、とても楽しみにしていました。

とても大東京とは思えない木立が鬱蒼としていて、静けさの中を玉砂利を踏んで進むと、大鳥居が繞き、ちょうど伊勢神宮を思い出して神々しかった。本殿へお出します。会報がお手元に届く頃には、

毎日です。会報がお手元に届く頃には、我が家の庭に赤ちゃんバトの鳴く声が聞かれる、ことでしょう。

は、本当にすばらしかったです。
さて恵比寿ですが、私は、今までの東京はあまりよく知りませんので、とにかく超高層ビルばかりで本当に吃驚しました。

申し訳ないのですが、唯長い列に並んで、昼食を食べに行つた事だけしか記憶にないのです。それに広くて、如何にも近代的な建物が建ち並び、確かにすばらしく若い人にいい所だと思いました。何分書くのが初めての事ですので至らないところはお許し下さい。

は、本当にすばらしかったです。
さて恵比寿ですが、私は、今までの東京はあまりよく知りませんので、とにかく超高層ビルばかりで本当に吃驚しました。

見学案内

見学案内

(1)

県内見学会

A班 10/24(火) B班 10/25(水)

九十九里・東金方面

ひとめどわかる県内日帰り見学会で次の五ヵ所を廻ります。

八菅原アートガラス工房

あなたの大作アートガラスを楽しめながら作ります。さぞかし思い出になることでしょう。

八武家屋敷門

文久二年、当時老中本多美濃守の江戸屋敷門であったのを東金に移築したもので、東大の赤門、国立博物館内にある黒門と、東金の武家屋敷門が日本三門といわれ国の重要文化財になつてゐる。

八坂神社

伏見天皇の御代、正應二年に、久我台の城主であった北條威盛守平成時の居城鬼門鎮座のため、京都

巢鴨・池袋方面

12/5(火) 12/6(水)

名勝探訪

12/5(火) 12/6(水)

巢鴨・池袋方面

12/5(火) 12/6(水)

急忙しい時期ですが、今日一日はのんびりと、六義園、巢鴨のお地蔵様、サンシャインを見学しましょう。

六義園は柳沢吉保の別邸です。巢鴨のお地蔵様は四の日の縁日が終わつた後で人が少ないので、ゆっくりと参りしてきましょ。

サンシャインは、巢鴨刑務所の跡に聳え立ち、数年前まで日本一高い建物でしたが、今では新宿や横浜の高層ビルに抜かれてしましました。建物の中には展望台、水族館、劇場等があり、若者のファッショントの店も多く、日の保養をし、若返つたところで早目に酒々井に帰ります。

八本松寺

この寺は日蓮宗で、見学すべきは鐘楼が有名で、享保二年十二月に建立され、江戸中期の地方棟梁のすぐれた技術がしきの

同夢山願成就寺

この寺はもと久我台に居館した北條氏によって鎌倉時代に創建された法華宗の寺院である。枝垂桜が有名であるが、この寺境内と思われるところに三介仏碑といわれている三基の五輪塔がある。塔は苦むし、碑文は磨滅し不詳であるが、正應二年、鎌倉の北條長時が上総介に補せられ、松之郷久我台に築城し、その子久時、孫守時と三代（約50年）に亘つて此の地を治めた。恐らく後人がその徳を偲んでの供養塔と思われる。

郷土研行事案内

平成7年10月～12月

	10月	11月	12月
史談会	14日(土)午後1時30分 中央公民館 「史料に読む酒々井の歴史のひとこま」(7) 講師 高橋健一先生	休 み	2日(土)午後1時30分 中央公民館 「史料に読む酒々井の歴史のひとこま」(8) 講師 高橋健一先生
名勝探訪	12月5日(火) 雨天代替 巢鴨・池袋方面 (コース) 京成酒々井駅 → 駒込 → 六義園 → 駒込 → 巢鴨 → 高岩寺 (とげぬき地蔵) → 巢鴨 → 池袋 → サンシャイン → 池袋 → 酒々井 (自由参加) 費用は自己負担 (都合でコース変更もありますので了承下さい)	8日(金) 京成酒々井駅 8:15集合	
野草の会	10月27日(金) 雨天代替 野草観察の会(下岩橋地区)	30日(月) 集合場所一京成宗吾参道駅(藍堂口)9時30分 持ち物一昼食 及び 飲み物 「タコアシ」の観察をいたします。	
県内見学会	10月24日(火) A班 25日(水) B班 申込受付日 受付場所 会費 キャンセル 東金方面	各定員33名 出発時間 コース 10月12日(木) 9:00 中央公民館 ロビー 2,500円(材料費を含む) 昼食は自己です 実施日3日前まで会田秀雄宅まで(TEL)	中央公民館 8:30 公民館 → 武家屋敷門 → 菅原工芸 → (昼食面倒) → 八坂神社 → 本松寺 → 原成就寺 → 菅原工芸(作品受取) → 公民館 雨天決行
県外見学会	11月9日(木) 甲府方面 出発時間 中央公民館 6:00	申込受付日 受付場所 会費 キャンセル 連絡先 10月12日(木) 9:00 中央公民館 ロビー 7,000円 実施日5日前まで 会田秀雄宅まで (TEL)	10月12日(木) 9:00 (コース) 中央公民館 (6:00) → 石川PA → 甲府 → 升仙峡(昼食) → 武田神社(宝物殿) → 恵林寺 (庭園) → 藤沼 → 石川PA → レインボーブリッジ → 酒々井 (19:20) 雨天決行

昇仙峡は金峰山から発した渓谷で、天神森から仙娥滝迄約五キロが天下の奇勝です。断崖を縫って流れる渓谷に登龍岩・覚円峰・天狗岩・屏風岩等が車窓から見られます。

昼食を含めて約二時間、ロープウェイに乗るもよし、資料館の見学・少し歩いて仙娥滝の見物等御自由にお過ごし下さい。

武田神社は、戦国時代の武将武田晴信を祀った神社(信玄は出来してからの法号)です。晴信は、「人は城、人は石垣、人は堀、情は味方、仇は敵なり」として領民に善政をつくしました。

宝物館には、風林火山の旗印・武具など多數展示されています。

恵林寺の山門をくぐると杉並木の参道が続き、第二山門へこれだけが焼け残り重文の四脚門の右の門柱に安禪不必須山水(静かに坐禅を組むには必ずしも山水の静かな所を必要

有史以来の新記録と言う盛暑も過ぎた甲府で晩秋の一日を楽しく過ごしましょう。

昇仙峡は金峰山から発した渓谷で、天神森から仙娥滝迄約五キロが天下の奇勝です。断崖を縫って流れる渓谷に登龍岩・覚円峰・天狗岩・屏風岩等が車窓から見られます。

有史以来の新記録と言う盛暑も過ぎた甲府で晩秋の一日を楽しく過ごしましょう。

梅雨が明けた途端の連日の猛暑。ついに八月三十日には三九一度と全国でその日の最高気温を記録てしまいました。

一躍有名になってしまった佐倉地方の気温・雨量の観測地点は何處にあるか御存知でしょうか? それは鹿島橋付近に設置されたアメダスの観測により測定されています。ちなみに梅雨が明けたのは、なんと半数近い二八日もありました。本当に厳しい夏でした。

この暑さを無事耐え抜いてくれられた郷土研の皆様、お待ちかねの秋の行事が盛り沢山に計画されています。遊びに、遊びに、元気なお顔を見せ

いた。本音に厳しい夏でした。

間の間に気温三六度以上(体温以上)の日は、なんと半数近い二八日もありました。本音に厳しい夏でした。

この暑さを無事耐え抜いてくれた郷土研の皆様、お待ちかねの秋の行事が盛り沢山に計画されています。遊びに、遊びに、元気なお顔を見せ

郷土研日誌 78-186	
日付	内容
7/16	史談会 高橋健一先生(1)
7/17	史料に読む酒々井の歴史のひとこま(7)
7/18	郷土大講座 「昭和サムライの七段」
7/19	支教会 高橋健一先生(4)
7/20	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/21	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/22	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/23	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/24	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/25	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/26	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/27	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/28	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/29	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/30	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
7/31	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/1	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/2	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/3	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/4	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/5	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/6	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/7	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/8	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/9	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/10	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/11	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/12	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/13	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/14	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/15	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/16	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/17	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/18	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/19	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/20	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/21	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/22	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/23	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/24	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/25	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/26	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/27	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/28	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/29	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/30	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
8/31	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/1	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/2	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/3	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/4	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/5	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/6	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/7	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/8	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/9	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/10	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/11	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/12	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/13	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/14	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/15	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/16	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/17	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/18	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/19	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/20	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/21	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/22	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/23	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/24	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/25	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/26	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/27	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/28	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/29	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
9/30	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/1	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/2	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/3	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/4	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/5	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/6	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/7	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/8	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/9	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/10	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/11	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/12	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/13	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/14	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/15	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/16	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/17	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/18	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/19	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/20	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/21	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/22	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/23	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/24	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/25	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/26	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/27	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/28	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/29	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/30	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
10/31	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/1	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/2	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/3	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/4	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/5	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/6	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/7	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/8	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/9	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/10	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/11	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/12	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/13	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/14	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/15	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/16	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/17	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/18	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/19	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/20	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/21	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/22	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/23	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/24	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/25	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/26	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/27	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/28	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/29	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
11/30	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/1	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/2	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/3	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/4	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/5	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/6	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/7	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/8	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/9	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/10	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/11	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/12	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/13	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/14	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/15	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/16	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/17	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/18	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/19	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/20	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/21	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/22	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/23	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/24	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/25	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/26	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/27	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/28	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/29	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/30	巡回奉告会 開口蔵太郎先生
12/31	巡回奉告会 開口蔵太郎先生

あとがき

侵掠如火 不動如山
病如風徐如林
如山如風徐如林
不動如火侵掠如火

しない、左の柱に滅却心頭火自涼
(心頭滅却すれば火おのずから涼し)
の有名な文字が書かれています。本
堂に上り、信玄公・柳沢吉保などの墓、
庭園そして宝物館と見学して廻りました
よう。(酒々井の勝蔵院の不動
様の頭と信玄公の頭と付け間違えたとい
う) 信玄公像に御注目を! ～
わられる信玄像に御注目を! ～
の有名な文字が書かれています。本
堂に上り、信玄公・柳沢吉保などの墓、
庭園そして宝物館と見学して廻りました
よう。(酒々井の勝蔵院の不動
様の頭と信玄公の頭と付け間違えたとい
う) 信玄公像に御注目を! ～